

古くからの、深いつながり

桃太郎と田原本

日本を代表する童話・桃太郎。桃太郎伝説は全国にあります、田原本町はその発祥の地・桃太郎生誕の地とも言われています。今年はこの地で、全国各地から関連団体が集まり、桃太郎の魅力年全国へ伝える「桃太郎サミット」が開催されます。今回、田原本町と桃太郎のつながりをさまざまな面からお伝えします。



Interview

田原本町は桃太郎生誕の地

私たちの町、田原本町は「桃太郎生誕の地」です。

第七代の孝霊天皇は黒田（田原本町黒田周辺とされます）の廬戸宮を都としました。そして、妃の阿礼比売命（蠅伊呂泥）との間に、倭迹迹日百襲姫命と彦五十狹芹彦命（後の大吉備津彦命）が生まれ、妃の妹の蠅伊呂杵との間には若建吉備津彦命が生まれました。二人の妃は三代安寧天皇の孫の子にあたります。そして、皇子の大吉備津彦命と、若建吉備津彦命が、桃太郎であると言われています。

大吉備津彦命と、若建吉備津彦命は、吉備国に鬼退治に行くことになりました。播磨の加古川付近に陣をはり、備前・備中を平定しました。また、東かがわ市の水主神社の伝承では、大吉備津彦命たちが、姉の百襲姫命を助けに、讃岐に渡り女木島の鬼を退治したとあり、「鬼無」という地名が残っています。

この説話は、まさに桃太郎の鬼退治であり、讃岐国一宮・田村神社の祭神は姫と桃太郎であると言えます。その後吉備に帰り、備後地方を平定後、二人は父の命を受け、美作を経て伯耆国を平定します。そして出雲国と戦い休戦の協定となります。



元奈良県立橿原高校教頭
第7回あしたのなる表彰
受賞

石井正信さんの
の大学頭・
淡海三船が天
皇の漢風諡号
を撰定したと

言われ、孝霊天皇の「霊」は『後漢書』の靈帝紀に「乱れて損なわざるを霊」とあり。桃太郎説話は、『魏志倭人伝』にある「倭国の大乱」かもしれません。

吉備の温羅伝説と古事記の桃太郎説話は室町時代に一つになったと言われます。「鬼ノ城」にいた温羅と大吉備津彦命の戦いがあり、大吉備津彦命を祭神とする吉備津神社には温羅も祭られています。倉敷市の榎築遺跡の巨石は温羅の攻撃を防ぐためと言われますが定かではありません。

考古学の上で、吉備・讃岐と大和は深い繋がりがあり、榎築遺跡は双方中円墳であり、古墳時代の纏向遺跡の前方後円墳の基と言われます。また、唐古・鍵遺跡から吉備の大型器台が出土していて、吉備との深い関係がわかります。

全国に「桃太郎伝説」があるのは伊那那岐命が桃の実に「私を助けたように人々が苦しんでいるときは助けよ」と仰せられ「意富加牟豆美命」と名付けたことからです。

そして、田原本町は伝説が生まれる起点であると言えます。

桃太郎ゆかりの地を巡る

田原本町黒田には、桃太郎であると言われる大吉備津彦命、若建吉備津彦命の父・孝霊天皇の都「黒田廬戸宮」の跡地とされるところがあります。かつては多くの寺社があり、栄えていたと言われています。

現在ではわずかになりましたが、今も残る過去の面影をご紹介します。

▲法楽寺の正面参道前に、孝霊天皇黒田廬戸宮跡の石碑が建てられています。

法楽寺

聖徳太子が法隆寺への行脚の際に、孝霊天皇一族の霊威を感じ、黒田廬戸宮跡とされるこの地に建立したといわれています。当時の寺社は承元元年に残らず焼失しましたが、その後再建されました。室町時代に堂宇25を数えた盛時を伝える板絵図がありますが、今は1堂を残すのみとなっています。



▲本尊の子安地藏菩薩立像。安産や招福の守護尊です。



▲板絵図の写し。当時の栄えていた様子がわかります。



▲外観。二段の屋根が特徴的で、堂々としたたたずまいです。

孝霊神社 (別名・廬戸神社)

第七代孝霊天皇を祭神とし、御協立には皇女である倭迹迹日百襲姫命、そして皇子である大吉備津彦命をはじめとした一族が祭られているとされています。

もとは法楽寺の鎮守社でしたが、明治時代初期に現社地へ遷座し、黒田村の氏神として引き継がれました。



▲鳥居の扁額には、「廬戸神社」の文字があります。



▲拝殿の奥にある本殿。御神体が祭られる場所です。



▲拝殿。一対の狛犬が、守るように鎮座しています。

桃太郎とともに

田原本町内では、桃太郎生誕の地であることを活かし、絵本の発行や、イベントでのPRなど、桃太郎とともに地域を盛り上げるためさまざまな取り組みが行われています。



▲桃太郎を通して町を盛り上げる団体である、田原本桃太郎会のキャラクター「ももたん」。



▲町観光協会が発行している絵本「ももたろう完結版」。
桃太郎がお姫さまと結婚して完結する、「ハッピーエンドの桃太郎」です。



▲田原本桃太郎会では、ぎおん祭、やどかり市、十六市など、町内のイベントで、町が桃太郎生誕地であることをPRしています。



▲近鉄田原本駅舎西側の壁面に町内の保育園、幼稚園の園児たちが描いた桃太郎の絵を展示しています。

◀桃太郎伝説に深い関係があると思われる田原本町黒田と、蔵堂で主に栽培されている「古代桃」。先のとがった、まさに童話「桃太郎」に出てくる桃の形をしています。

桃太郎への思い～関係者たちの声～

今回、桃太郎の魅力を全国に発信する「桃太郎サミット」が、桃太郎生誕の地である田原本町で開催されます。それにあたって、関係者に思いをお聞きました。



桃太郎サミット実行
委員会 副会長
田原本桃太郎会 会長
竹村和勇さん

今回の桃太郎サミットの開催を機に、今後も町内のイベントへの協力を続け、桃太郎を通じて田原本町を応援し続けたいと思っています。

町の活性化のために、多くの人に来てもらえるように、皆で力をあわせて頑張っていきます。



桃太郎サミット実行
委員会 委員
共和輪業社
川本和則さん

田原本町は桃太郎生誕の地であるので、盛り上げていこうと頑張っていますが、メンバーの高齢化も進んでいます。

若い世代の皆さんには、今回のサミットを通して、町と桃太郎を盛り上げていく力になってもらえると嬉しいです。

田原本での桃太郎サミットの開催は、7年ぶり3回目ということで、町をあげて盛り上げたいです。町で有名なものといえば唐古・鍵遺跡ですが、桃太郎生誕の地であるということも、多くの人に知ってもらえるよう力を入れていきたいと思っています。



桃太郎サミット実行
委員会 委員
山田国嗣さん

このまちに、桃太郎がいたという歴史があるということ、桃太郎はここであの山を見たのかな、どういう育ち方をしたのかな、と想像を膨らませながら意識してもらえると嬉しいです。

町の誇りである桃太郎をもっと広めていきたいと思っています。



桃太郎サミット実行
委員会 委員
有杉本進誠堂薬局
杉本賢一さん

第17回桃太郎サミット ～生誕の地 田原本大会～

田原本町が「桃太郎生誕の地」であることを宣言して23年が経とうとしています。そして、桃太郎の魅力を全国に発信する桃太郎サミットは、今年で17回目を迎えます。今回、改めて桃太郎ばなしの原点に戻り、その物語の魅力、そして桃太郎生誕の地であるこの町の魅力を感じてもらいたいと思います。

日時 9月22日(日)

午後3時～5時

(開場＝午後2時30分～)

場所 青垣生涯学習センター 弥生の里ホール

費用 無料

問い合わせ

桃太郎サミット実行委員会事務局

田原本町商工会 ☎ 32-2552 / FAX 33-5477



内 容

● 講演

「桃太郎の魅力」

講師 立石憲利さん

(岡山民俗学会名誉理事長)

今も語り継がれる童話・桃太郎。物語、登場人物など、さまざまな面から、その魅力を語ります。



● 講演

「楽しい観光」

講師 平田進也さん

(株)日本旅行西日本営業本部担当部長兼添乗員)

「楽しい観光」にするには？

「浪速のカリスマ添乗員」の異名を取る、平田進也さんが話します。

